

【平成5年度】 設計課題「喫茶コーナーのある画廊併用住宅」（鉄筋コンクリート造2階建て）

1. 設計条件

画廊（絵画の展示・販売）を営む店舗併用住宅を計画する。
計画に当たっては、次の①、②に留意すること。

- ①画廊部分と住宅部分は、屋内の1階部分で行き来できるようにし、相互の関連性について配慮する。
- ②画廊の展示室は、
 - ・1階及び2階それぞれに設け、相互のつながりについて配慮する。
 - ・吹抜け及び喫茶コーナー（喫茶サービスのためのコーナー）を設け、居心地のよい空間となるように配慮する。

(1)敷地

- ア. 形状、道路との関係、方位等は下図のとおりである。
- イ. 建ぺい率の限度は80%、容積率の限度は200%である。
その他の用途地域等の地域、地区による制限は考慮しないでよいものとする。
- ウ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- エ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2)構造、階数

鉄筋コンクリート造2階建とする。（ラーメン構造とする。）

(3)延べ面積

230㎡以上、270㎡以下とする。
（ピロティ、玄関ポーチ等は、床面積に算入しない。）

(4)家族構成等

夫婦（夫婦で経営）、子供2人（女子高校生、男子中学生）

(5)所要室

下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

所要室	設置階	特記事項	
画廊	展示室	1階及び2階	ア. 床面積の合計を80㎡とする。 イ. 吹抜けを設ける(10㎡以上)。 ウ. 1階に喫茶コーナー(カウンター又はテーブル(計6席程度)、調理台を配置)を設ける。
	事務室	1階	・ 15㎡以上とする。
	倉庫	〃	・ 10㎡以上とする。
	洗面所	〃	
	便所	〃	
住宅	玄関	1階	・ 画廊の主要な出入口とは共用しない。
	居間	〃	ア. 1室又は2室にまとめてもよい。 イ. 計25㎡以上とする。
	食事室	〃	
	台所	〃	
	便所	〃	
	夫婦室	2階	・ クローゼットを含み、洋室16㎡以上とする。
	子供室	〃	・ 2室設ける。 ・ 1室につき、洋室10㎡以上とする。
便所 収納スペース	〃		
浴室 洗面脱衣室	1階又は2階		
その他必要と思われるもの			

(6)駐車スペース

敷地内に、小型乗用車(5人乗り)2台分の屋外駐車スペースを設ける。

(7)その他

建築物の最高の高さは、10m以下(煙突、避雷針はこれに含めない)、かつ、軒の高さは9m以下とする。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規を用いなくてもよい)。
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、5mm(矩計図にあっては10/3mm)である。

要求図書 ()内は縮尺	特記事項
(1)1階平面図兼配置図 (1/100)	ア. 敷地境界線と建築物との距離、建物の主要な寸法を記入する。 イ. 配置図に、駐車スペース、門、塀、植栽を記入する。 ウ. 室名を記入する。 エ. 画廊には、展示室の喫茶コーナーに、カウンター又はテーブル、椅子、調理台、洗面所に洗面器、便所に便器その他必要と思われるものを記入する。
(2)2階平面図 (1/100)	オ. 住宅には、流し台、調理台、ガス台、浴槽、洗面器、便器、洗濯機置場その他必要と思われるものを記入する。 カ. 矩計図の切断位置を記入する。 キ. 2階平面図に、1階の屋根伏図(平屋部分がある場合のみ)も記入する。 ク. 吹抜けとなる部分は、それを明示する。
(3)立面図 (1/100)	ア. 画廊部分の主要な出入口側の立面図とする。 イ. 建築物の最高の高さを記入する。
(4)矩計図 (1/100)	ア. 切断位置は、住宅部分の1階・2階それぞれの開口部を含む部分とする。 イ. 作図の範囲は、外壁心から1,000mm以上とする。 ウ. 床高、天井高、階高、軒の出、開口部の内法寸法、屋根の勾配を記入する。 エ. 主要部材(基礎、地中梁、柱、壁、梁、床スラブ、屋根スラブ)の断面寸法を記入する。 オ. 屋根、外壁、その他必要と思われる部分の断熱措置を記入する。 カ. 内外の主要な仕上(屋根、外壁、床、内壁、天井)を記入する。
(5)面積表	ア. 面積を、答案用紙の面積表に記入する。 イ. 建築面積及び床面積の計算式を記入する。 ウ. 数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。

